

2025-2026 年度 国際ロータリー第 2720 地区

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

2 2026
Feb.
Vol.8

発行 / 2 月 1 日

Rotary 
District 2720

「一人ひとりの手をつなぎ
身近な平和へ」


Governor's Voice

「平和をつなぐ」

国際ロータリー第 2720 地区
2025-2026 年度ガバナー

藤田 千克由

UNITE
FOR
GOOD



Content

03

平和構築と紛争予防月間に寄せて
ガバナーメッセージ
「身近な平和のために」

11

第2回
ガバナー補佐・部門長会議報告

13

2720地区 会員増強で成果が出ている
クラブのご紹介

18

ポリオフォトコンテスト受賞して
受賞者：波左間英樹さん

19

会員数報告
今月の予定
入退会者のお知らせ

05

熊本東南ロータリークラブ
初代幹事 佐野茂さんの思い出
――鈴木義親パスト会長に聞く――

Governor's Message



国際ロータリー第 2720 地区
2025-2026 年度ガバナー

藤田 千克由

平和構築と紛争予防月間に寄せて

「身近な平和のために」

2 月は「平和構築と紛争予防月間」です。平和という言葉を目にすると、私たちはつい国際紛争や大きな社会問題を思い浮かべがちです。しかし、ロータリーが目指す平和は、決して遠い世界の出来事ではありません。むしろ、私たちが日頃クラブで行っている奉仕活動そのものが、地域における“平和の基盤”をつくっています。平和とは、争いがない状態だけではなく、人と人が信頼し合い、安心して暮らせる社会を指します。信頼が育まれ、孤立が減り、互いを理解しようとする姿勢が広がる時、地域には紛争の芽が生まれにくくなります。ロータリアンが日々実践している活動は、まさにその基盤づくりです。

地域社会には、子ども、高齢者、障がいのある方、ひとり親家庭、そして外国人住民など、多様な背景を持つ人々が暮らしています。それぞれが安心して生活できる環境を整えることは、平和構築の重要な一歩です。特定の誰かに偏るのではなく、

Governor's Message

地域全体を包み込む視点こそ、ロータリーが大切にしてきた奉仕の精神です。近年、日本では外国人就労者の受け入れが進んでいますが、これは地域の多様性が広がる一つの側面にすぎません。多文化共生は重要なテーマである一方で、私たちが向き合うべき平和構築は、地域のあらゆる人々の孤立を減らし、つながりを増やすことにあります。

例えば、子どもや若者の未来を支える学習支援やキャリア教育、居場所づくりは、将来の不安や格差を減らし、希望を育てる取り組みです。若者が安心して成長できる社会は、紛争の芽が生まれにくい社会です。また、高齢者や弱い立場の方への寄り添いも、地域の安心感を高める大切な活動です。見守りや交流の機会をつくることで、誰もが尊重される環境が生まれます。これは平和の基盤そのものです。

さらに、多文化共生の理解を深める取り組みも、地域の安定に寄与します。外国人住民との交流や日本語支援、地域行事への参加促進などは、誤解や偏見を減らし、共生社会を育てます。ただし、これを特別扱いではなく、地域の多様性の一部として自然に受け止める姿勢が大切です。地域の対話とつながりを増やす場づくりも、平和構築に欠かせません。多世代交流、学校との連携、災害支援、地域清掃など、クラブが続けてきた活動はすべて、信頼を育て、地域の安定につながっています。対話が増えるほど、誤解や対立は減っていきます。

そして、クラブ内での“平和文化”の育成も忘れてはなりません。四つのテストを実践し、多様な価値観を尊重しながら議論し、協力し合うクラブの姿は、地域にとっての“平和のモデル”となります。クラブの雰囲気そのものが、平和構築の実践となるのです。

これらの取り組みは、特別なプロジェクトを立ち上げなくても、クラブの規模や地域の状況に合わせて無理なく始めることができます。大切なのは、「平和構築は身近なところから始まる」という視点です。平和は、特別な誰かがつくるものではありません。私たち一人ひとりの小さな行動の積み重ねが、地域の安定と信頼を育て、やがて世界の平和へとつながっていきます。どうかこの月間が、クラブの活動に新たな視点と誇りをもたらす時間となりますように。

Treasure Excavator

ロータリー
お宝発掘
シリーズ

Treasure
Excavator

熊本東南ロータリークラブ初代幹事 佐野茂さんの思い出

— 鈴木義親パスト会長に聞く —

語り手：鈴木義親氏（熊本東南 RC）

聞き手：堀川貴史（熊本南 RC）・彌富照皇（熊本東南 RC）

寄稿：植山朋代（2720JapanO.K.REC）



お誕生会にて楽しそうな
佐野 茂 氏（熊本東南ロータリークラブ）

創立会員として歩み始めた佐野茂さん

熊本東南ロータリークラブ初代幹事であり、第4代会長を務めた佐野茂さんは、2023年、94歳でその生涯を閉じられました。亡くなる直前までロータリアンであることを貫いた方です。

今回は、故堀川貴史地区パストガバナーと彌富照皇地区ロータリー財団部門長を聞き手に、同クラブ創立会員であり、佐野さんと長年活動を共にしてきた鈴木義親パスト会長に、佐野さんの人柄と創立当時

の様子を語っていただきました。

佐野さんは1984年、熊本東ロータリークラブの20周年事業として誕生した熊本東南ロータリークラブに、58歳で創立会員として入会されました。熊本県で7番目のクラブであり、佐野さんは初代幹事を務められました。

「昼食がきっかけ」の入会

「私は39歳のとき、知人に誘われて創立会員として入会しました。当時は“キャッスルホテルで毎週おいしい昼食が食べられる”と言われて、その言葉に惹かれたのがきっかけです」と鈴木氏は振り返ります。

Treasure Excavator



旅行中の佐野氏

創立時の会員は 35 名、平均年齢は 48 歳でしたが、そのうち 13 名は名前だけの会員で、例会にはほとんど出席しなかったといえます。創立日は 4 月 4 日、同年 12 月 8 日には、つるや百貨店最上階でチャーターナイトが開催され、当時の沢田一誠熊本県知事が来賓として出席されました。

テリトリー制度と創立準備委員会

当時はクラブごとに明確なテリトリーがあり、熊本東南ロータリークラブは白川より南東、電車通りから中心部にかけた地域を担当していました。居住地がテリトリー外の場合は、該当クラブの許可を得て入会する仕組みでした。

創立前年には 10 名による準備委員会が結成され、鈴木氏もその一員でした。「佐野さんは私より 18 歳年上で、兄や父のような存在でした。頼りになる反面、時には気難しい一面もありました」と語ります。

アナログ時代の幹事業務

当時は完全なアナログの時代で、例会にはテープレコーダーを持ち込み録音し、それを書き起こして週報を作成していました。水曜日の例会後、金曜日の午前中までに原稿を仕上げなければならず、幹事業務は常に時間との戦いでした。

鈴木氏はもともと事務職で経理に明るく、ある時、決算書を作成して佐野さんに見せたところ、「未収や未払いも立っているのですね？」と言われたそうです。

「驚かれたのか、怒られたのか分かりませんが、“そこはうまくやってください”と言われたのが、今でも印象に残っています」と話します。



30 周年にくまもと

Treasure Excavator

日本たばこ産業からクラブ創立へ

佐野さんは日本たばこ産業に勤務し、退職後は熊本東ロータリークラブの堀田特別代表の会社に勤められました。そこで堀田特別代表、岩田特別代表補佐から新クラブ創立の指導を受けたといいます。

クラブは、佐々田氏を初代会長、佐野さんを幹事、麻生氏を会計としてスタートしましたが、麻生氏は入会後3年で逝去されました。



自転車寄贈支援

行きつけの店と戦争体験

佐野さんには行きつけのスナック「タカ」があり、気に入った人しか連れて行かなかったそうです。

台湾生まれ台湾育ちで、大正15年生まれ。陸軍士官学校を卒業し、戦車部隊に所属。20歳の時、厚木で終戦を迎えました。戦後はそのまま厚木で日本たばこ産業に就職されました。

「佐野さん中心」に回っていたクラブ

「自分の考えをしっかりと持った方でした。その後10年間は、佐野さんを中心にクラブが回っていました」と鈴木氏は語ります。

創立9年目には会員数は83名に達し、20年間で230人もの会員が入れ替わりました。現在の会員数は39名です。

創立初年度は、とにかく例会を重ねる日々でした。キャッスルホテルの洋食に、慣れないナイフとフォークを使い、緊張しながら食事をしたことが思い出として残っています。

「円卓10席で、あちこちのテーブルから呼ばれていました。テーブルには必ず灰皿が置いてありました」と、当時を懐かしみます。



旅行先にてみんなと

Treasure Excavator



今回取材を担当した、鈴木氏・堀川氏・彌富氏

「ミスター・ロータリー」と呼ばれて

以前から職業奉仕に熱心だった佐野さんは自身の会長年度は「ロータリーアン ― 奉仕に結束 ― 平和に貢献」というテーマを掲げられて一年間クラブを運営され、鈴木さんは会計として佐野会長を支えられました。

佐野会長年度には、交換留学生コリン・ジョンソンの受け入れほか、児童養護施設「慈愛園」に10万円の寄付を行ったり、東地区少年柔道剣道大会の主催を行ったりしました。熊本城東ロータリークラブの設立準備のスタートもこの年でした。

熊本東南ロータリークラブには、「会長の時間」とは別に「ロータリーの時間」が設けられていました。RIの規定やロータリーの考え方を説明する時間で、これは佐野さんの会長時代に始まりました。そのため、佐野さんは「ミスター・ロータリー」と呼ばれるようになりました。佐野さんの「ロータリーの時間」は好評で、地区の卓話バンクにも登録され、プログラムの一つとして活用されていました。

新会員教育への思い

当時、新会員には情報担当者4名によるオリエンテーションが行われる決まりでした。佐野さんはそのための資料を準備し、守るべきことを丁寧に教えていました。

佐野さんの印象について鈴木氏は、「とにかくジェントルマンでした。服装もいつも紳士的で、知識は豊富でしたが地区に出ることはなく、ひたすらクラブ運営に尽力されました」と語ります。

会長を1回、幹事を2回、そして30周年実行委員長を務められました。

突然の別れ

ある日、例会当日、「今日は体調が悪いので欠席します」と、病院へ向かうタクシーの中からSAAに電話がありました。その道中で容体が急変し、急逝されました。

Treasure Excavator

熊本東南ロータリークラブをけん引する大きな力でありながら、常に補佐役に徹した方でした。若い会員が自由に活動できるよう支えながらも、ロータリーの枠から外れないよう、常に気を配っていました。

後輩会員から

別の会員からも、佐野さんへの言葉が寄せられています。
「ロータリーが日本の中で居場所を見つけるために、日本のルールや国民性を見据えて土台を築いてくださった方だと思います」（故堀川地区パストガバナー）
「とても几帳面で責任感の強い方でした。昔の日本人の美徳を備えていた方だと思います」（彌富地区ロータリー財団部門長）

歌と酒、そしてロータリー

佐野さんは酒に強く、飲むとよく歌を歌われました。好きな歌は「昴」でした。
「100歳までロータリアンでいらっしゃると思っていましたが、95歳で亡くなられて、寂しく思います」と鈴木氏は語ります。
「クラブが一番、親睦が一番」――。
その言葉どおり、佐野茂さんの歩みは、熊本東南ロータリークラブの歴史そのものでした。

「お宝発掘シリーズ」推薦者募集のお願い

ガバナー月信の新企画「お宝発掘シリーズ」は、長きにわたりロータリークラブや地域社会に貢献された方々（故人を含む）の功績や物語をインタビューでご紹介するものです。

【推薦いただきたい方】

- ・貴クラブ活動で顕著な功績を残された方。
- ・ロータリーの奉仕精神を体現し、多くの会員に影響を与えた方。
- ・ロータリー所属問わず、地域社会の課題解決・発展に貢献された方。
- ・故人の場合は、ゆかりの深い方で当時のお話をお聞かせいただける方。

※推薦いただいた方の中から選考の上、取材についてご相談させていただきます。地区の歴史の中で輝く「お宝」を共に発掘できることを楽しみにしております。

【推薦先】

メールアドレス：rotary2720@gmail.com
ガバナー事務局担当副幹事 植山朋代



国際ロータリー第2720地区 2025-2026年度

地区大会

地区大会テーマ

未来をつなぐ 絆の力 ～ともに感じ 友と歩もう～

2026年 5月22日(金) 23日(土)

本会議会場 J:COM ホルトホール大分

〒870-0839 大分県大分市金池南1丁目5-1 (JR 大分駅南口前)

国際ロータリー第2720地区の皆様へ



国際ロータリー
第2720地区ガバナー
藤田 千克由



地区大会実行委員長
松田 健太郎

皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
本年度の地区大会は、2026年5月22日(金)、23日(土)の2日間にわたり、大分市内にて開催いたします。

大会テーマは「未来をつなぐ 絆の力 ～ともに感じ 友と歩もう～」といたしました。今年度のキーワードである「つながる」の集大成として、心が触れ合い、友情と奉仕の原点を再確認できる2日間を目指しております。

5月22日の大会前日には「つながる力で世界を変える～地域リーダーとともに創るロータリーの未来」と題したフォーラムを実施します。これからのロータリーの姿とともに描く場になればと考えております。

5月23日の本会議・記念講演では経済アナリストとして活躍される森永康平氏をお迎えします。お父様である森永卓郎氏とのつながりも交えながら、先行き不透明な経済情勢を読み解く上で皆様の一助となるお話が伺いできるものと期待しております。

講演後には、森永氏、ロータリアン、ローターアクト、インターアクトによる世代を超えたディスカッションを予定しています。各世代の視点や経験とともに語り合うことで、新たな学びや発見につながるひとときになれば幸いです。

昼食休憩時には、子どもたちが主体となって料理を提供する「こども屋台選手権」を開催いたします。世代や立場を越えてつながることの楽しさや可能性を感じて頂ければと考えております。

本会議後の懇親会は海を望む水族館「うみたまご」にて開催いたします。心と空間の中で皆様の親睦と友情が一層深まるひとときとなりましたら幸甚に存じます。

皆様の記憶に残るかけがえのない2日間になるように努めてまいります。本地区大会を通じて、皆様がますます親睦と友情を深め、人のつながりを肌で感じ、心をひとつに奉仕の輪がさらに大きくなることを願っております。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

記念講演

テーマ 「日本経済の現状と展望」
～地域の自立と連携の必要性～



経済アナリスト
株式会社マネネCEO

森永 康平氏

プロフィール

証券会社、運用会社にてアナリストとして株式市場や経済のリーサー業務に従事。その後、業務範囲は海外に広がり、インドネシア、台湾などアジア各国にて新規事業の立ち上げや法人設立を経験し、事業責任者やCEOを歴任。2018年6月、金融教育ベンチャーのマネネを創業。経済アナリストとして講演やメディア出演も行っている。著書は「スラグレーションの時代」(宝島社新書)や父・森永卓郎との共著『親子ゼニ問答』(角川新書)など多数。

会場 ご案内



ホストクラブ/大分中央RC

コ・ホストクラブ/大分RC・大分東RC・大分臨海RC・大分南RC・大分1985RC・大分城西RC
大分キャピタルRC・2720 Japan O.K.ロータリーEクラブ・大分Oli Oli RC

Event report 01

第2回ガバナー補佐・部門長会議報告

報告：次年度地区幹事 水野虎彦（人吉 RC）

去る12月6日（土）第2回次年度ガバナー補佐研修（19名参加）・部門長会議並びに現・次年度ガバナー補佐・部門長合同会議（54名参加）、藤田年度第3回ガバナー補佐部門長情報交換会（39名参加）が大分市コンパルホールにて開催されました。

ガバナーエレクトとのディスカッション。次年度へ向けての方針や各部門の取り組み、出前セミナーの取り組み方などのディスカッション。3大研修の準備について、公式訪問の決定手順などが協議され、大変有意義な会議となりました。

また夜の懇親会がレンブラントホテルにて開催、併せて、延岡ガバナーエレクトの壮行会が開催されました。壮行会では延岡ガバナーエレクトを元気づける為に藤田年度のスタッフによるAIを活用した動画が製作されオープニングとして放映され、大いに賑わいました。



Event report 01



伝統を大切にしながら、AI という新しい風も取り入れて。
私たちの歩みは、ここからさらに加速していきます。



Activity report

2720 地区

会員増強で成果が出ているクラブのご紹介

地区会員増強・拡大部門長 奥村 誠基より

ロータリアンの皆様、日頃よりロータリー活動、そして会員増強への多大なるご尽力を賜り、本当にありがとうございます。

現年度も半期が過ぎました。各クラブで掲げていただいた増強人数の目標に対し、地区全体の進捗率は現在 34%となっております。数字だけを見れば道半ばではありますが、その裏側にある皆様の地道な努力を日々感じております。

さて今回は、すでに目標を達成された 5 つのクラブをご紹介します。

この後に続く各クラブ会長の記事を拝読しますと、地域ならではの苦労などが伝わってまいります。

決して楽な道のりではありませんが、まずは達成されたクラブの皆様にエールを送るとともに、その奮闘ぶりを皆様のクラブでもぜひ参考にさせていただきたいと思います。

今後も、各地のリアルな事例を随時ご紹介してまいります。皆様のクラブがさらに活気づき、2720 地区全体が共に手を取り合って発展していくことを心より願っております。

■目標達成クラブのご紹介

(※以下、各クラブによる寄稿記事へと続きます)

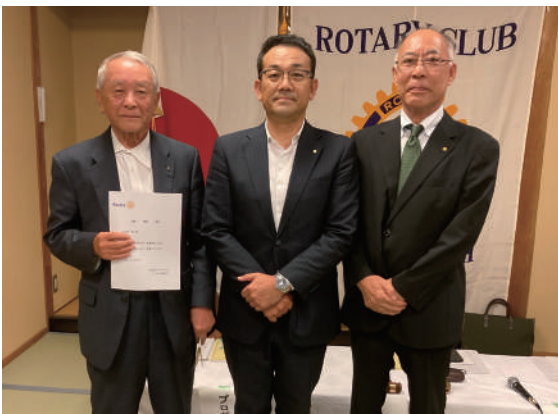
別府北ロータリークラブ 会員増強委員会 クラブ会員増強の戦略について

大分県別府市は人口が約 11 万人です。4 つの RC と 3 つの LC があります。更に会議所議員の席もありそれぞれのグループは新会員獲得に懸命です。対象となる新人は恒に重なり合います。どこのグループに入会するのは多少運命的な事もあります。そのためには当ロータリークラブと運命を感じてもらう事です。



Activity report

- 手順 1 気持ちにゆとりがあるか：お金は大切ですが気持ちはもっと大切
- 手順 2 奉仕活動に少しでも興味があるか：過去にボランティア活動があれば条々
- 手順 3 国際奉仕活動に興味はあるか：奉仕の視野が広ければ大丈夫
- 手順 4 ロータリークラブを知っているか：知っていても知らなくても例会に誘う
- 手順 5 勧誘：RI の実績と当 RC の歴史と実績の説明（質疑）
- 手順 6 入会後の活動やサポートについて説明（特に会費に説明はしない）
- 手順 7 入会



手順 3 くらいで運命を感じてくれると、いいところまでいきます。当ロータリークラブは 2025.12 までに 3 名の新会員が入りました。今年はクラブ創立 60 周年の式典もあり、通年よりも早い増強委員会の働きもあったようです、活動が盛んなクラブは沢山の候補者を抱えています。別府市内 4RC 全体で毎年 10 名くらいの新会員が入会します。退会者を考えると最低 2 名、は入会してもらわないと激減です。3 名から 4 名の新会員の獲得を目標とするとなんとかなりそうです。全クラブ会員と増強委員は自

クラブに対して誇りをもって活動し会員予定者には「地元のためにちょっとだけ力をだして」とつたえて、入会書にサインを頂きます。

毎年の増強の目安は会員総数の 10%としています。増強委員会は会長、幹事、委員長を中心にこれからも頑張ります。

宇土ロータリークラブ 会長 石井 政宏

宇土ロータリークラブ本年度 4 名増員。決して自慢できる事ではありません。元々、会員数が少なく、4 名増えて 18 名なのです。

1 名はガバナー補佐の紹介でした。いつも当クラブのことを気にかけただいて感謝しております。2 名は幹事の抜群の人柄に引き寄せられて入会されました。もう 1 名は私の学校の後輩で、ロータリーの魅力を語り続けていたら入会しました。



Activity report

以前、宇土市にライオンズクラブ、宇城市にロータリークラブがありました。宇土市のライオンズクラブは、60 年以上の歴史があり、名士も多く、会員数も多いです。青年会議所の若い人達もライオンズクラブの方へ入会されるようです。私が 4, 5 年かけて、ロータリークラブへ入会するように勧めていた人が、いつのまにかライオンズクラブに入っている状況です。また、一般市民もロータリークラブの奉仕活動をライオンズクラブが行ったと勘違いされるケースも多いです。このような環境でロータリーの会員増強を行うことは厳しいと思います。宇土ロータリークラブが発足してから 40 年になります。宇土ロータリークラブを存続させるには、「宇土ロータリークラブに入りませんか」「ロータリーの友」を持って、会員増強を粘り強くするしかありません。



宇城市のロータリークラブが存続できませんでした。そこで、宇土ロータリークラブは宇城市まで地域を広げ、会員増強を行うことに致しました。今回の 4 名中 2 名は宇城市の方です。問題もあります。例会場(宇土市)へ来るのも大変です。また、奉仕活動も宇城市まで広める必要が出てきます。しかし、今はそれでも会員増強をどんどん進めようと思っております。

宇土ロータリークラブは、後期高齢者も多く、元気に例会に出てこられることを願っております。また、クラブを存続するためには、未来を担う若い人達に入会していただく必要があります。そのためには、会員増強と同時に、魅力のあるクラブ作りが重要です。地区の皆様のご紹介、ご協力宜しくお願い申し上げます。

熊本中央ロータリークラブ 会員増強を願って

熊本中央ロータリークラブは、今年度開始時、会員数 25 名、平均年齢 64 歳でした。しかも、ここ数年間、赤字続きで、繰越金も、底が見えてい



Activity report



ます。

さて、ロータリークラブには、「限界クラブ」という言葉があるそうです。会員数 35 名、平均年齢 60 歳以上だそうです。まさに、熊本中央ロータリークラブは、限界クラブ。その打開策は、「若者、ばか者、よそ者」。若者は活気があり、ばか者は常識にとらわれず突飛な発想をし、よそ者の新入会員は、新しい人脈を背負っています。

あと半年、若者である現会員の協力を得て、新入会員を頼みとして、ばか者になりきって、会員数増強と平均年齢引き下げに奮闘したいと思います。

参考文献；田中久夫著「ロータリークラブに入ろう！」「そうだったのか！？ロータリークラブ！！」

熊本西ロータリークラブ

11 月 30 日開催しました 40 周年記念事業を機に会員増強に対する意識が高まる中で、新会員の新たな人脈が会員増強に繋がっております。

また、会員数を増やすというより、有能な会員を増やすことが更に増強につながるという思いを全員で共有して頑張っています。



Activity report

菊池ロータリークラブ

2025-2026

第 54 代会長 山口 徹

2025 年 7 月、菊池ロータリークラブは 17 名でスタートし、現在、8 名の増強に至っています。まず私は 1 年間の会長の役目として、どこのクラブも問題である会員増強を重視し、菊池ロータリークラブの組織図を会員増強特化型の編成を行いました。



そして、会長所信にも会員増強の事に『想い』を込めて書かせていただき、「13 名を増強目標に 30 名までクラブ会員数を必ず目指します」と記載させていただきました。また、例会・理事会でも会長の挨拶の中で増強について自らが発信していき、さらに増強について報告、会議などを議題に必ず取り組むこと、会員全員に会員増強の意識を常に持っていただけるように取り組みました。

実際、行動したことは吉良増強部門長を主として、会員全員で増強リスト作成を行いました。そして、候補者にアタックする場合はアポを取り、会長・部門長・会員（効果的なメンバー）と候補者で飲みニケーションを行い、ロータリーの外郭・魅力などを伝えることに力を注ぎました。その中で、一番大事なものは会長の『想いの強さ』が必要であると考えています。

また、言葉だけではなく会長自らが率先して動くこと。背中を見せること。

人は心で動きます。

現在、あと 5 名の増強目標に足踏みをしています、必ず 5 名の増強目標を達成するために会員全員で行動して参ります。

クラブスローガン

意志堅固

～強い意志を持って行動する～

重点活動項目

- ① 会員増強 (17 名→30 名) 13 名増強必達
- ② つながる、つなげる (コミュニケーション・飲みニケーション)
- ③ とにかく楽しく、もっと楽しく



Activity report

ポリオフォトコンテスト受賞して

受賞者 波左間英樹さん



先日、12月に横浜で行われたロータリー研究会に於いて、2025 世界ポリオデーイベントフォトコンテストの受賞式が行われました。藤田ガバナーをはじめ参加された 2720 地区の方々から『おめでとう！』『あと一歩だったね。』とかメッセージが届きました。まさか RI 理事長賞を受賞することが出来ました。聞けば RI 会長も 2 つの作品を何度も比べてみてられたとのこと。惜しくもトップの RI 会長賞は逃しましたが、名誉ある賞を頂き感無量でございます。思い起こせば 2023 年の堀川パストガバナーが開催されました、ポリオチャリティー募金の時にも熊本西南 RC の林田会員の娘さんを撮影し、ライズリー管理委員長賞を頂き、今回で二回目の受賞となりますが、今回も藤田ガバナーと熊本南 RC のコラボ企画のポリオカラオケチャリティーパーティーで的一幕を、下手な鉄砲も数撃ちゃ当たると連写しまくりました。大分でもカラオケパーティーは行われ撮影もしました。選別するのも大変でしたが、熊本南 RC の方々の表情がとても素晴らしく、この写真を応募いたしました。他の受賞作品を見てみれば、それはそれは素晴らしいものばかり。よくぞわたくしの写真を選んで頂きましたとこれまた嬉しい悲鳴です。仕事柄、撮影は多いのですが、このような形で選出されるともっと頑張らねばと思う次第であります。藤田ガバナー年度に少しでも貢献できたことを嬉しく思います。本当にありがとうございました。

2025 年 12 月 ロータリー会員数報告

グループ	クラブ名	年 初 7月1日	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減	当月末 会員数
熊本第一	山 鹿	13	1	1	0	13
	玉 名	46	2	2	0	46
	荒 尾	34	2	1	1	35
	玉 名 中 央	6	2	0	2	8
	(4 RC)	99	7	4	3	102
熊本第二	阿 蘇	32	0	2	-2	30
	肥 後 大 津	23	0	0	0	23
	菊 池	17	8	1	7	24
	肥 後 小 国	12	1	0	1	13
	熊 本 菊 南	12	3	0	3	15
	熊本'05福祉	9	0	0	0	9
	熊本りんどう	16	0	0	0	16
熊本第三	(7 RC)	121	12	3	9	130
	熊 本	87	7	3	4	91
	熊 本 東	34	3	1	2	36
	熊 本 北	5	0	1	-1	4
	熊 本 東 南	37	2	2	0	37
	熊 本 城 東	27	1	2	-1	26
	熊本地区Yon-Nasee会	9	0	9	-9	0
	熊本グリーン	20	2	0	2	22
	熊 本 平 成	18	1	1	0	18
	熊本水前寺公園	7	0	0	0	7
熊本第四	(8RC+1衛星C)	244	16	19	-3	241
	熊 本 南	64	2	1	1	65
	熊 本 江 南	55	4	0	4	59
	熊 本 西 南	27	3	1	2	29
	熊 本 西	8	6	2	4	12
	熊 本 中 央	25	5	0	5	30
	熊 本 西 稜	17	0	0	0	17
	(6 RC)	196	20	4	16	212
熊本第五	八 代	73	8	2	6	79
	八 代 北	23	2	0	2	25
	八 代 南	43	1	4	-3	40
	宇 土	14	4	0	4	18
	八 代 東	51	6	1	5	56
熊本第六	(5 RC)	204	21	7	14	218
	人 吉	49	3	0	3	52
	水 俣	23	1	0	1	24
	多 良 木	19	0	1	-1	18
	芦 北	23	1	0	1	24
	人 吉 中 央	33	1	0	1	34
	(5 RC)	147	6	1	5	152
熊本第七	天 草	44	2	0	2	46
	牛 深	16	0	0	0	16
	西 天 草	18	1	0	1	19
	天 草 中 央	37	2	0	2	39
	天草パールライン	14	2	0	2	16
熊本第七	(5 RC)	129	7	0	7	136
	熊本40RC+1衛星C計	1,140	89	38	51	1,191

グループ	クラブ名	年 初 7月1日	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減	当月末 会員数
大分第一	中 津	42	1	0	1	43
	日 田	50	1	3	-2	48
	中 津 中 央	17	0	0	0	17
	日 田 中 央	43	1	0	1	44
	玖 珠	16	1	0	1	17
	中 津 平 成	23	1	0	1	24
	(6 RC)	191	5	3	2	193
大分第二	豊 後 高 田	40	2	0	2	42
	宇 佐	22	0	0	0	22
	杵 築	12	1	0	1	13
	杵築one heart衛星	7	0	0	0	7
	く に さ き	19	0	0	0	19
	宇 佐 八 幡	24	0	0	0	24
	宇佐2001	23	0	1	-1	22
	(6RC+1衛星C)	147	3	1	2	149
大分第三	別 府	37	1	1	0	37
	別 府 北	35	3	2	1	36
	別 府 東	43	2	2	0	43
	日 出	15	0	0	0	15
	別 府 中 央	15	3	0	3	18
	湯 布 院	13	0	1	-1	12
	(6RC)	158	9	6	3	161
大分第四	大 分	48	4	1	3	51
	大 分 東	32	0	0	0	32
	大 分 臨 海	46	2	2	0	46
	大 分 南	39	1	1	0	39
	大 分 中 央	90	5	2	3	93
	大 分 1985	26	0	4	-4	22
	大 分 城 西	28	0	1	-1	27
	大分キャピタル	56	3	2	1	57
	2720J.O.K.REC	58	1	0	1	59
	大分Oli Oli	22	6	2	4	26
大分第五	(10RC)	445	22	15	7	452
	竹 田	21	2	0	2	23
	佐 伯	31	0	0	0	31
	臼 杵	28	2	1	1	29
	津 久 見	31	2	0	2	33
	豊 後 大 野	11	0	0	0	11
	佐伯MARINE	29	5	1	4	33
	(6 RC)	151	11	2	9	160
大分34RC+1衛星C計		1,092	50	27	23	1,115
74RC+2衛星C総計		2,232	139	65	74	2,306

RI2720 地区事務所

〒860-0807 熊本市中央区下通 2-7-7 R-terrace4F
TEL.096-312-2720 Fax.096-355-2720
E-mail : ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

RI2720 地区 ガバナー事務所

〒870-0846 大分市花園 2 丁目 11 番 42 号 1F
TEL.097-574-8198 Fax.097-574-8199



2025 年 12 月
ローターアクト会員数報告

クラブ名	年 初 7月1日	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減	今月末 会員数
八 代 RAC	11	2	2	0	11
人 吉 RAC	6	1	0	1	7
熊 本 南 RAC	11	2	0	2	13
熊本火の国RAC	11	2	3	-1	10
熊本城 東 RAC	6	1	0	0	7
熊本 東 南 RAC	26	4	1	3	29
熊本グリーンRAC	2	0	0	0	2
津 久 見 RAC	9	1	0	1	10
大 分 RAC	2	6	0	6	8
別 府 RAC	11	3	1	2	13
別 府 北 RAC	5	1	1	0	5
日田中央RAC	13	2	1	0	14
大分中央RAC	24	0	4	0	20
E クラ ブ RAC	22	2	1	1	23
別 府 東 RAC		18	0	18	18
計	159	45	14	33	190

※12 月末時点での会員数です。
その他の項目については次号以降反映予定としております。

ロータリアン・ローターアクト・衛星クラブ
合計会員増強数値目標！

～ロータリアン・ローターアクト・衛星クラブで
合計 2,835 名を目指します～

2,835 人

12 月末までの合計会員数は
2,496 人

内 訳	年初 7/1 合計会員	本年度合計 入会者	本年度合計 退会者	本年度合計 増減	12 月末合計 会員	目標数値 合計
ロータリアン	2,216 人	139 人	56 人	83 人	2,299 人	2,610 人
ローターアクト	159 人	45 人	14 人	33 人	190 人	208 人
衛星クラブ	16 人	0 人	9 人	-9 人	7 人	17 人
合計	2,390 人	184 人	79 人	107 人	2,496 人	2,835 人

※各クラブの詳細はホームページからご確認ください

目標達成まで あと

339 人

2 今月の予定
Feb.



最新の行事カレンダーは
こちらの QR コードから
ご確認ください

6 日 (金)・7 日 (土) 2750 地区地区大会

14 日 (土) 延岡年度地区チームラーニングセミナー

15 日 (日) RIJYEM_ 第 19 回理事会

21 日 (土)・22 日 (日) RLI パートⅢ



入退会者のお知らせ

2026.1.20 現在

入会者

新会員をご紹介します

クラブ名	氏 名	職業分類
多良木	林 哲也	消火器内科



国際ロータリー第 2720 地区
ホームページはこちらの
QR コードからご覧ください

退会者

クラブ名	氏 名	職業分類
日田	穴井 亮次	不動産業
別府	三宅 貞宗	写真業
別府北	宮本 千鶴子	料飲業
熊本東南	前田 日出夫	理美容機械器見卸
熊本西	本田 一夫	自動車整備
八代南	東 明美	解体業
八代南	永江 秀人	資源リサイクル業
八代南	小林 英幸	電気工事



寄附金のご協力感謝いたします



米山功労者



荒尾ロータリークラブ
吉永 晃一郎 会員
(1回目)

マルチプル・
ボール・ハリス・フェロー



荒尾ロータリークラブ
角町 博記 会員
(2回目)

Discovery

「お宝発掘シリーズ」推薦者募集のお願い

ガバナー月信の新企画「お宝発掘シリーズ」は、長きにわたりロータリークラブや地域社会に貢献された方々（故人を含む）の功績や物語をインタビューでご紹介するものです。

【推薦いただきたい方】

- ・貴クラブ活動で顕著な功績を残された方。
- ・ロータリーの奉仕精神を体現し、多くの会員に影響を与えた方。
- ・ロータリー所属問わず、地域社会の課題解決・発展に貢献された方。
- ・故人の場合は、ゆかりの深い方で当時のお話をお聞かせいただける方。

※推薦いただいた方の中から選考の上、取材についてご相談させていただきます。地区の歴史の中で輝く「お宝」を共に発掘できることを楽しみにしております。

【推薦先】 メールアドレス：rotary2720@gmail.com
ガバナー事務局担当副幹事 植山朋代

